

豊橋野球協会の歴史

豊橋野球協会歴代役員名

(8 ページ有り)

創 立	昭和 9 年 4 月	.	.
加 盟	昭和 9 年 4 月	.	.
歴代会長	寺嶋 正辞	昭和 21 年 4 月～昭和 41 年 3 月	昭和 62 年 10 月没
.	青木 良雄	昭和 41 年 4 月～昭和 49 年 3 月	昭和 49 年 2 月没
.	福井 良輔	昭和 49 年 4 月～平成 12 年 4 月	平成 12 年 4 月没
.	高柳 力	平成 12 年 7 月～平成 30 年 3 月	.
.	岡本 至弘	平成 30 年 4 月～	.
歴代副会長	田島 太郎	昭和 30 年 4 月～昭和 41 年 3 月	.
.	関口 八郎	昭和 30 年 4 月～昭和 39 年 3 月	平成 5 年 6 月没
.	大羽 五郎	昭和 41 年 4 月～昭和 45 年 3 月	平成 6 年 11 月没
.	野口 品二	昭和 41 年 4 月～昭和 48 年 7 月	昭和 48 年 7 月没
.	高橋 道夫	昭和 49 年 4 月～平成 9 年 7 月	平成 9 年 7 月没
.	河合 寿夫	昭和 49 年 4 月～昭和 57 年 3 月	.
.	高柳 力	平成 4 年 4 月～平成 14 年 3 月	.
.	岡庭 仙吉	平成 14 年 4 月～平成 24 年 3 月	.
.	岡本 至弘	平成 24 年 4 月～平成 30 年 3 月	.
.	小久保 勇	平成 26 年 4 月～	.
.	小松 信幸	平成 30 年 4 月～	.
歴代理事長	小坂 文夫	昭和 37 年 4 月～昭和 39 年 3 月	平成 20 年 11 月没
.	高橋 道夫	昭和 39 年 4 月～昭和 49 年 3 月	平成 9 年 7 月没
.	高柳 力	昭和 49 年 4 月～平成 4 年 3 月	.
.	岡庭 仙吉	平成 4 年 4 月～平成 12 年 3 月	.
.	岡本 至弘	平成 12 年 4 月～平成 26 年 3 月	.
.	小松 信幸	平成 26 年 4 月～平成 30 年 3 月	.
.	菊池 義康	平成 30 年 4 月～	.

前史

豊橋の野球の源は、旧四中(豊橋中、現時習館高校)の野球部から始まる。

四中第一期の黄金時代は明治 44 年ごろから大正の初期にかけてで、大正 5 年 第 2 回全国中学校野球大会(現夏の高校野球大会)に出場し、優勝した慶応義塾に一回戦で惜敗した。

これを契機として豊橋地方の野球界は急激に盛んになった。実業団チームは町内有志で組織されたが、当時は硬式のみであった。

対症年少野球用のゴムボールが出現し、当地方も少年野球が盛んになり、新川、東田、松葉、花田、福岡小学校などがさかんで、各種全国大会に出場し、昭和 4 年、5 年には全国制覇を成し遂げた。

少年野球の隆盛と、それを応援する父母、市民の行き過ぎを懸念し、昭和 7 年 文部大臣名で野球統制令が発布された。少年野球はこれによって下火となった。

軟式野球ボールの出現で青年や事業所等にも野球が普及し、昭和 4 年から日本軟式野球協会、大日本軟式野球協会、日本軟式野球連盟など、主として使用球の違いで団体が幾つもでき、それぞれ大会を開催した。

豊橋も昭和 9 年に野球協会を創立し、当時、大林製糸、豊橋陶器、旭氷糖、中部電力、カネ仙、永田鉄工、網太また軍隊チームなど、多くのチームができ、戦前の黄金時代を迎えた。

昭和 14 年、軟式野球の協会、連盟などが統一され、各都道府県ごとに連盟が結成されたが、昭和 16 年戦争の激化とともにボールの配給もなくなり、自然とその姿を消していった。

戦後の再建

戦後間もない昭和 21 年 3 月 25 日に愛知県軟式野球連盟が結成され、同時期に豊橋野球協会も寺嶋正辞が会長に就任し、関口八郎、田島太郎、牧野茂三郎、小坂文夫、大羽五郎、鈴木豊、牧野喜八郎、など各氏の努力により再建された。

そして、昭和 23 年に戦災により焦土と化した市街地の焼け瓦を利用して、市役所職員や野球関係者などの多くの人々の労力の結集により豊橋球場が完成し、戦後のすさんだ人々の気持ちを、野球により一つの光を与え戦災復興のために一助をなしたといえる。

また、昭和 21 年 8 月 26 日に結成された全日本軟式野球連盟主催による天皇賜杯全日本軟式野球大会の前身である全日本軟式野球大会の豊橋予選ならびに国民体育大会軟式野球競技豊橋予選が東田球場などで開催され、第一繊維工業ならびにツユクボ工業が、そして戦災復興を祈念して開催した、第一回復興野球大会と新興軟式野球大会には、それぞれ舟原クラブと日新クラブが名誉ある覇者となったのである。

なお、復興、新興軟式野球大会の二大会は、昭和 50 年に 30 回大会をもってその役目を果たして終了したが、翌年から開催された会長旗争奪軟式野球大会に引き継がれている。

協会の発展

再建当時の野球協会の登録チームは 20 チームそこそこであったが、戦争の傷跡から立ち直り、協会役員のみならず努力と、事業所等の理解と協力を得て、年ごとに事業所チームやクラブチームが増えて、昭和 53 年度には 273 チームの登録チームを数えるに至り、愛知県下一の勢力を誇った。また、本市の軟式野球競技のレベルアップと野球界の発展を目指し、各種の全国大会等を多く開催すると共に、少年野球の発展にも力を注ぎ、着々とその目的を達成して、成果を上げている。

少年軟式野球の育成

昭和 54 年に国際児童年を記念して、学童を対象として、試合の機会に恵まれない子供達に、日頃の練習の成果を発揮する場を与え、学童野球の健全育成を図ると共に、学童の体力、精神力、人を思いやる心を育て、野球技術の向上を目指して、第一回豊橋少年軟式野球大会を開催したが、年々そのチーム数も増え、現在では 37 校区 64 チームの登録数となり、愛知県下一の勢力を誇るに至った。

大会においても前記の本協会主催の大会と、東海日日新聞社(旧不二タイムス社)の野口品二氏(故人)らの努力により、戦後 22 年に、少年年式野球の復活と子供達の健やかな発育を願い、本協会が主管となり開催されてきた「子供会野球を楽しむ会」を前身として、昭和 54 年 32 回大会より、大会形式を変えた、少年野球チームを主体として、「第一回少年軟式野球選手権大会」が、真夏の炎天下に開催され、さらに本協会の共催により豊橋スポーツ少年団秋季軟式野球大会の3つの大会をメイン大会として開催している。また、愛知県軟式野球連盟東三河支部連合会が主催している東三河少年軟式野球選手権大会の開催により、東三河の少年達の交流を図っている。また、学童低学年(小学 1 年～小学 3 年生)と女子を加えて、より多くの子供達に野球を楽しんでもらうために、平成 6 年に県下で初の「Tベースボール」の普及に取り組み、本協会の傘下でもある豊橋少年軟式野球連盟の指導者の協力のもとに、着々と成果を上げている。

平成 3 年に花田フレンズ、平成 7 年に富士見クラブが全国学童軟式野球大会に、豊橋中央(昭和 62 年から平成 2 年と平成 10 年の 4 回出場、うち平成元年、平成 2 年と平成 10 年に全国制覇)幸ヤンキース(平成 9 年)鷹丘ホークス(平成 14 年)高師スカイラークス(平成 18 年)がそれぞれ愛知県代表として全国スポーツ少年団軟式野球交流大会に出場して好成績をあげた。

また、中学校軟式野球においても、昭和 49 年に従来の学校教育での部活動だけ

でなく、社会教育での野球を通して中学生の指導、育成を目的として、当時の副会長高橋道夫氏(故人)を中心に、学校長の理解を得て、第1回豊橋中学校軟式野球大会がその年8月に開催され、昭和62年には秋季大会も開催して、レベルアップにも成果を上げ、平成5年に南部中学校、平成8年には東部中学校が、平成9年には青陵中学校が、中部日本地区選抜中学校野球大会に県代表として出場して優勝した。

全国大会の開催

① 全日本軟式野球大会

昭和25年 全日本軟式野球大会が愛知県で開催され、完成間もない豊橋球場において開催された。

② 第5回国民体育大会秋季大会

昭和25年10月、愛知県下において第5回国民体育大会秋季大会が開催され豊橋市で一般軟式野球競技が、豊橋球場で開催された。

③ 第9回東日本準硬式野球大会

昭和33年6月1日～4日まで豊橋球場、東田球場で第9回東日本準硬式野球大会が開催され、豊橋市役所が本市代表として出場、惜しくも2回戦において敗れた。

④ 高松宮賜杯第11回全日本軟式野球大会

昭和42年9月17日～21日、豊橋球場、東田球場において、高松宮殿下のご臨席を仰ぎ、盛大に高松宮賜杯第11回全日本軟式野球大会が開催された。

⑤ 第2回東日本軟式野球大会(1部)

昭和55年6月15日～18日まで新設なった豊橋市民球場を主会場に、豊橋球場、東田球場の3会場で、第2回東日本軟式野球大会(1部)が開催され、本市から「豊橋ブレーブス」、「セキハラクラブ」の2チームが出場した。

⑥ 中部日本都市対抗軟式野球大会

中部県下のA級13チームが競う同大会は、豊橋市民球場、豊橋球場で、昭和56年から昭和60年までの5年間(第26回大会から30回大会)開催され、第26回大会に「金指造船」が、27回大会から29回大会には3大会連続「オコヒラ」、第30回大会は「三菱レイヨン豊橋」が出場した。

平成10年(第43回大会)「ソリッド」、平成11年(第44回大会)「トピー工業」出場した。

平成16年(第49回大会)「三菱レイヨン豊橋」、平成17年(第50回大会)「福井ファイバーテック」が、開催市代表として出場し、強豪相手に善戦した。

⑦ 還暦軟式野球大会の開催

豊橋市において開催された還暦軟式野球大会は、平成12年の西日本還暦年式野球大会には地元から出場した「豊橋オールドボーイズ」は、見事3連覇を達成した。また、平成20年5月9日～13日まで、豊橋球場、東田球場、石巻運動広場、県神野野球場で豊橋体育協会創立80周年、法人化30周年を記念して開催された第18回大会は

西日本各地 38 チームの参加により開催されたが、残念ながら 3 回戦にて惜しくも敗退した。

また、平成 18 年には市政 100 周年を記念して第 22 回全日本還暦軟式野球選手権大会は、豊橋市を主会場に、豊川市、田原市にも協力をお願いして、8 会場にて全国 64 チームの参加により 9 月 22 日から 26 日まで開催されました。この大会に出場した「豊橋オールドボーイズ」は、3 回戦で敗退した。

⑧ 第 33 回東日本軟式野球大会(1 部)

平成 23 年 5 月 27 日～30 日で、第 33 回東日本軟式野球大会が、市民球場、豊橋球場 田原緑が浜球場にて開催され、開催市代表として「広中電機」、「エスカルゴ」が出場した。

第 49 回国民体育大会の開催

昭和 63 年、2 巡目の国民体育大会の開催を決議し、中央競技団体の会場地視察を仰ぎ、平成元年に開催内定により、豊橋市でも準備委員会が設立された。そして、平成 3 年に第 49 回国民体育大会「わかしゃち国体」が、正式に愛知県において開催されることが決定し秋季大会の会期は平成 6 年 10 月 29 日から 11 月 3 日と決まった。

豊橋市では、軟式野球(青年一部一般・壮年)、バレーボール(少年男子)自転車(ロードレース・トラックレース)の 3 競技の開催と成った。なお、軟式野球競技は、新城市、豊川市においても成年 2 部が開催された。

前年の平成 5 年 8 月 20 日から 24 日までの 5 日間、国民体育大会のリハーサルとして、豊橋市民球場、豊橋球場、東田球場、県神野野球場の 4 球場で、高松宮賜杯第 37 回全日本軟式野球大会(第 1 部)を開催し、開催市代表として、本市の「鬼夜馬組」「ひこクラブ」を始め、全国から 32 チームの参加により盛大に開催され、「鬼夜馬組」は 2 回戦、「ひこクラブ」は 1 回戦で敗退した。

平成 6 年 10 月 29 日(土)、名古屋市瑞穂公園陸上競技場で、天皇、皇后両陛下をお迎えし盛大に開催され、いよいよ県下各地で競技が開催されることになった。

豊橋市も競技が好天に恵まれ開催され、軟式野球競技も一部一般が 16 チーム、壮年が 12 チームの参加により競技が行われた結果、愛知県は軟式野球競技の総合 1 位となり、有終の美を飾り無事競技を終えた。なお、この大会には、豊橋野球協会役員、審判員のほか、豊橋少年野球連盟指導者、同父母集団(会長 金田 勝)、豊橋サンデーベースボールクラブ(会長 岩田武久)、豊橋早朝野球同好会(会長 兵藤 学)、愛球会(幹事 浅岡宏介)から 414 名の皆さんにより、接待、練習会場、式典、駐車場、交通、球場整備など協力員として、また、豊橋体育指導員がチーム係りとして、多くのボランティアの皆さんの力に支えられ無事終了できました。

創立 60 周年記念行事

第 49 回国民体育大会が開催された平成 6 年は、当協会が昭和 9 年に創立してから丁度 60 周年という記念すべき年にあたり、同年 8 月 20 日(土)に記念式典を豊橋グランドホテルで、全日本軟式野球連盟、愛知県軟式野球連盟、県下各支部、豊橋市、市議会等をはじめ、関係者多数の出席により盛大に開催し、国体開催の気運を盛り上げた。

文部科学大臣表彰の受賞

平成 16 年 10 月 8 日(金)東京都千代田区の「パレスホテル」において、当協会は、平成 16 年度生涯スポーツ優良団体として、長年、野球を通じて生涯スポーツの発展と振興に力を注いだ功績が認められて大臣表彰を受賞し、授賞式には、高柳会長と岡本理事長が出席した。

また、この年は協会創立 70 周年記念にあたり、式典に華を添えた。

協会が主催する年間の大会

I. 社会人

- ①天皇賜杯全日本軟式野球大会豊橋予選(A 級)(BC 級)
- ②国体軟式野球競技豊橋予選(AB 級)(C 級のみ)
- ③BC 級軟式野球大会(BC 級のみ)
- ④会長旗争奪軟式野球大会(BC 級のみ)
- ⑤市長旗争奪軟式野球大会(BC 級のみ)
- ⑥A 級リーグ軟式野球大会(A ゾーン 8 チーム・B ゾーン 8 チーム)
- ⑦A 級 4 強軟式野球大会

II. 学童

- ①豊橋少年軟式野球大会(中日少年野球県大会予選を兼ねる)

III. 中学

- ①豊橋中学生軟式野球大会
- ②豊橋中学生秋季軟式野球大会

今後の取り組み

今後、豊橋野球協会は、野球を通じて学童から高齢者まで男女を問わず、親しまれる野球、そして、生涯スポーツの普及と発展、周辺市町との交流を深め、地域リーダーとして、さらなる発展と努力を惜しまず、活動しなければならぬと思っている。

豊橋野球協会の会員

役員

(令和2年4月1日現在)

顧問	高柳 力	.	.	.
会長	岡本 至弘			
副会長	小久保 勇	.	.	.
副会長	小松 信幸	.	.	.
副会長 (少年野球連盟)	山下 雅史			
副会長 (中学野球連盟)	石田 晴夫			
顧問	高柳 力			
理事長	菊池 義康			
副理事長 (審判長)	野口 明義		.	.
常任理事 (副審判長)	鈴木 伸幸			
常任理事 (会計)	大羽 信幸			
常任理事 (審判技術員)	半田十九夫	朝倉 計二	藪崎 弘夫	.
常任理事 (兼審判員)	高木 国雄	田中多佳男	伊藤 重二	萩本 克嘉
."	行野 和彦			
"(チーム選出)	岩田 武久	加藤 談		
.常任理事	松崎 正尚	尾崎 雅輝		
.常任理事	勝 保博	大西 隆志	長尾 忠弘	.

(少年野球選出)				
常任理事 (中学野球選出)	鈴木 省五	山本 晴彦	中島 康文	
監 事	滝川 幸三	大塚 功一	尾崎 仁士	
理 事 (兼審判員)	中村 広行	長谷 重直	坂本 功次	小林 勝司
	小川 和夫	牧野 宣幸	尾崎 仁士	坂神 真吾
	板坂 浩伸	原田 篤宣	伊藤 朗	兵道 仁志
理 事	竹本 政弘	富田 吉男	榎 義雄	
理 事 (チーム選出)	佐野 公彦	金田 芳浩	白頭 勲明	高須 正幸
	石原 雅之	野澤 勇太	澤田 貴史	中村 直樹
	松崎 俊介	菅沼 克英	伴 智樹	井端 肇
	市川 繁則	杉野 雅宣	熊瀧 崇人	中島信一郎
	安座間達矢	村尾 賢吾	七原 郷平	太田 茂樹
理 事 (少年野球選出)	佐藤 伸	山田 勝己	松本 剛	西川 幸良
	佐野 宏康	杉山 誠	堀江 伸享	
理 事 (中学野球選出)	梶川 真一	渡部 年彦	武藤 秀雄	

登録チーム

一般	104 チーム	2,200 人
中学	30 チーム	450 人
学童	62 チーム	1,000 人

準会員

豊橋少年軟式野球連盟		
学童部		2,000 人
指導者	107 チーム	582 人
指導者		154 人

豊橋中学軟式野球連盟		
中学軟式野球	30 チーム	450 人
豊橋サンデーベースボールクラブ	15 チーム	300 人
.	.	.
愛 球 会	10 チーム	200 人

(資料提供 豊橋野球協会 会長 岡本至弘氏)